



素材の特長を活かし、油脂の個性を磨き続けることで、高品質な製品を創り続ける

# 横関油脂工業株式会社

## 本社工場（北茨城市）



執行役員 製造部長 五十嵐 信孝氏

### 旧日本海軍の技術士官が創業

横関油脂工業株式会社（以下、横関油脂工業）は、1948年（昭和23年）、現代表取締役の実父である横関銀市郎氏が創業しました。

横関銀市郎氏は、零式艦上戦闘機の内燃機で使用するエンジンオイルやグリース等を研究する旧日本海軍の技術士官でした。終戦後、横関銀市郎氏は、技術士官だった経験を活かし、東京都新宿区西落合の工場で魚油硬化油の製造を始めました。

創業時の日本の油資源は、鰯等の魚油と鯨油等の動物性油脂がメインでした。1950年（昭和25年）、マッコウ鯨油（脳油）から工業用に使用するセタノールの抽出・製造、1953年（昭和28年）には食用ラードの製造、1960年（昭和35年）には、国産豚脂の集荷を開始し、現在の油脂工業の基礎を築きました。

1961年（昭和36）、株式会社に改組、社名を横関油脂工業株式会社に変更し現在に至っています。

1969年（昭和44）には、ひまし油の硬化油、脂肪酸など化粧品や工業用品に使用する二次製品の製造を開始する等、事業領域を拡大してきました。また、1976年（昭和51年）以降、食用油脂、精製ラード、マーガリン、ショートニング等の各種JAS認定工場となり、順調に業績を伸ばしてきました。

### 高い品質で顧客からの信頼を得る

横関油脂工業の強みは、小ロットから対応可能な生産体制、水素添加により硬化油を作り出す高い技術力と厳格な品質管理体制にあります。

油脂製品は、通常100 tロットから対応するケースが殆どですが、横関油脂工業では、メインの本プラントで10 t単位から対応可能としており、ミニプラントにおいては300kgと少量から対応が可能です。多種多様な製品ラインナップで、顧客の細やかなニーズに応えるべく受託生産を基本としています。

食用品や工業用品等に使用される硬化油は、菜種油や大豆油等の液体油などに水素を添加する技術で製造されており、創業者の横関銀市郎氏が旧日本海軍で培った高度な技術を活用しています。さらに、基礎研究や用途開発、生産技術開発の積み重ねにより、健康食品や機能性食品、化粧品等に使用されるプレミアムオイルなど希少なオイルの製造も可能にしています。

横関油脂工業がより高度な品質管理体制を構築したきっかけは、2000年代初頭に発生した食品問題により食の安全要求が高まったことにあります。横関油脂工業では、この安全要求に応えるべく、HACCPの認証を取得したところ、食品関連の製造工程等がレベルアップしました。これを契機に、工業用品等の品質管理の高度化に向けた機運が高まり、ISO9001の認証取得へとつながりました。



北茨城市の本社工場

このように、柔軟な生産体制と高度な生産技術、厳格な品質管理体制の構築により、横関油脂工業の作り出す製品は、安心・安全で高い品質を有し、顧客から高い信頼を得ています。

## 新たな事業領域を可能にした 本社工場



マカダミアナッツオイル



充填プラント

横関油脂工業が工場を構えていた新宿区西落合の用途地域は準工業地域でしたが、次第に開発が進み、工場周辺にはマンションが林立するようになってきました。

横関油脂工業が製造する硬化油は、水素を使用するため、地域住民が増加していくに従い、生産活動が困難になってきました。また、業績の拡大もあり、更なる生産規模の拡充が求められてきたことから、工場移転を決意し、北関東地域の工業団地を中心に候補地を探し始めました。

数ある候補地の中から、常磐高速自動車道路の高萩ICから近いこと、事業規模に見合う広大な敷地(5,000坪)があること、油の精製時に大量の冷却水を使うため、使用可能な工業用水が豊富にあること、原料メーカーが都内の交通渋滞に巻き込まれず、スムーズに受け入れができること等から、1990年(平成2年)、茨城県北茨城市中郷工業団地に本社工場を建設しました。

北茨城市に本社工場を移転した横関油脂工業は、新たにミニプラント、天然ワックスプラント等を設置したことにより、今までの工場では取り扱うことが困難だった椿油や馬油といったプレミアムオイルといわれる様々な珍しい精製油や天然ワックス等を少量でも製造できる体制が確立されました。これにより、試作品が作りやすくなり、化粧品や健康食品メーカー等との取引が拡大しました。

本社工場に勤務する従業員は82名で、男女比が約6:4と製造業では比較的女性比率の高い職場となっています。全員が地域住民で、地元の高校卒業生や、Uターンの大学生を採用しており、地域にとっては貴重な就

業の場といえます。

また、従業員は4～5年のジョブローテーションにより、職務拡大が図られています。さらに、自己啓発にも積極的で、ボイラー技士や危険物取扱者等といった業種にあった資格だけでなく、外国語検定等、幅広く資格を取得する風土が醸成されています。

## 創業70周年は通過点

横関油脂工業は、今年で創業70年を迎えます。魚油硬化油からスタートし、マッコウ鯨油からセタノールの抽出、食用ラードの製造等、時代の変遷に伴い、様々な食と工業用の油脂を作り続けてきました。

その結果、横関油脂工業は、自社の強みである、「小ロット生産による柔軟な受注」、「高度な製造技術」、「厳格な品質管理」を活かしつつ、同業他社が手を出しにくいニッチな領域にも入り込むことで、取引先からは「あそこに声をかければ何とかなるかもしれない」と言われる企業へと成長してきました。

これからも、豊富ジャンルの製品と顧客ニーズに応えられる技術力で高品質製品を創り続けることにより、横関油脂工業の益々の発展が期待されます。

### 会社概要

所在地	(本社工場) 茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺 644-49 中郷工業団地
業種	食用、工業用油脂、天然ワックス、 油脂化学品の製造販売
従業員数	92名
代表取締役	横関 長太郎
連絡先	(本社工場) 0293-42-1464
URL	<a href="http://yokozeki-yushi.jp">http://yokozeki-yushi.jp</a>